

PRP-FD療法の特徴

PRP-FD療法の特徴

① 自己修復機能の促進¹⁾

血小板に含まれる成長因子の働きによって、患部の自己修復機能が促進されると考えられます。

② 自己血液を使用するオーダーメイド治療

患者さんご自身の血液をもとに抽出した成長因子を使用するオーダーメイドの治療です。

③ 関節内注射による治療

PRP-FD療法は、ひじ、ひざの関節内に注射器を使って注入するため、手術の必要はありません。

¹⁾ Andia I, Maffulli N. Nat Rev Rheumatol 2013; 9(12): 721-730.

こうした症状や疾患で治療を受けている方、お悩みの方は医師に改めてご相談ください



PRP-FD療法について

Q 治療には手術が必要ですか？

A この治療法は、ご自身の血液から抽出した成長因子をひじ、ひざの関節内に注射器を使って注入するため、手術の必要はありません。

Q 入院の必要はありますか？

A 多くの患者さんがこの治療を外来診療で受けており、基本的には入院の必要はないと考えられますが、治療を受ける際に、医師にご相談ください。

Q 高齢でも治療を受けられますか？

A 手術を行わない注射による治療ですので、高齢の患者さんでも受けることが可能です。ただし、関節の状態によっては、年齢にかかわらず手術が適していることもあり、医師とよく相談することが大切です。

Q 関節以外の症状で治療を受けられますか？

A アキレス腱など、筋肉や腱の症状への適応となることもあります。患者さんによって異なるため、まずは現在の症状を医師にご相談ください。

Q 副作用はありますか？

A 患者さんご自身の血小板から抽出した成分を注入するため、重い副作用は少ないと考えられています。ただし、注射による一般的な副作用(痛み、赤み、腫れなど)が起こる可能性があります。

Q 健康保険の適応となりますか？

A 現時点では自由診療で治療を行っております。

病院・医院名

PRP-FD療法による新しい関節治療をご存知ですか

— 一関節でお悩みのあなたに —



関節の症状でお悩みの方は、医師にご相談ください

PRP-FD療法とは

PRP-FD療法は、患者さん自身の血液(血小板)由来の成長因子を活用する治療法です

血液中の血小板はさまざまな「成長因子」という、細胞の成長や増殖を促す物質を含んでいます。近年、スポーツ選手がひじの治療などに導入していることや、アンチエイジングの技術として知られはじめている多血小板血漿(PRP)療法は、自身の血液から血小板を多く含んだ成分だけを取り出し、備った箇所へ注入する治療法です。このように患者さんご自身の血液からつくられたPRPを濃縮させ血小板を活性化することで、より多くの成長因子を取り出します¹⁾。PRP-FD療法は、成長因子を備った箇所へ注入することで自己修復機能を促し、痛みの軽減や備った箇所の治療を目指します。

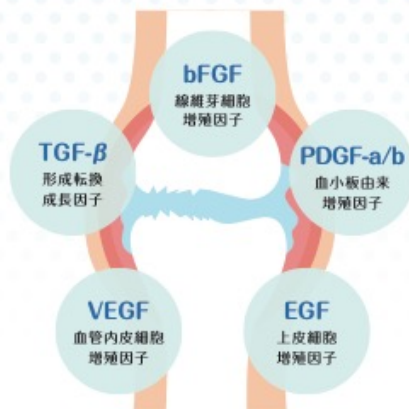
¹⁾ Anaki J, et al. Tissue Eng Part C Methods 2012; 18 (3): 176-185.



※治療の効果には個人差があります。

成長因子の投与で期待できる効果

血小板に含まれる成長因子



血小板由来の成長因子は、傷の修復に不可欠です。これらの成長因子を特殊な技術で濃縮して関節内に注射することで、痛みを和らげたり、損傷部位の修復が期待できます²⁾。

成長因子の働き

1 抗炎症作用²⁾

血液中の血小板内には、炎症を抑える働きを持つ成長因子が含まれています。

2 修復促進²⁾

血小板に含まれる成長因子は、自己修復に必要な細胞増殖を促進させます。

3 コラーゲン産生を促進³⁾

血小板に含まれる成長因子による線維芽細胞の増殖は、骨や血管を作るために欠かせないコラーゲンの産生を促進します。

¹⁾ 林野6391872号
²⁾ Andia I, Maffulli N. Nat Rev Rheumatol 2013; 9 (12): 721-730.
³⁾ Fei Y, et al. Eur Pharm Res 2013; 19 (19): 3354-3363.

青戸克 ほか 整形外科 2014; 57 (18): 965-970, JVA作図

治療の流れ

